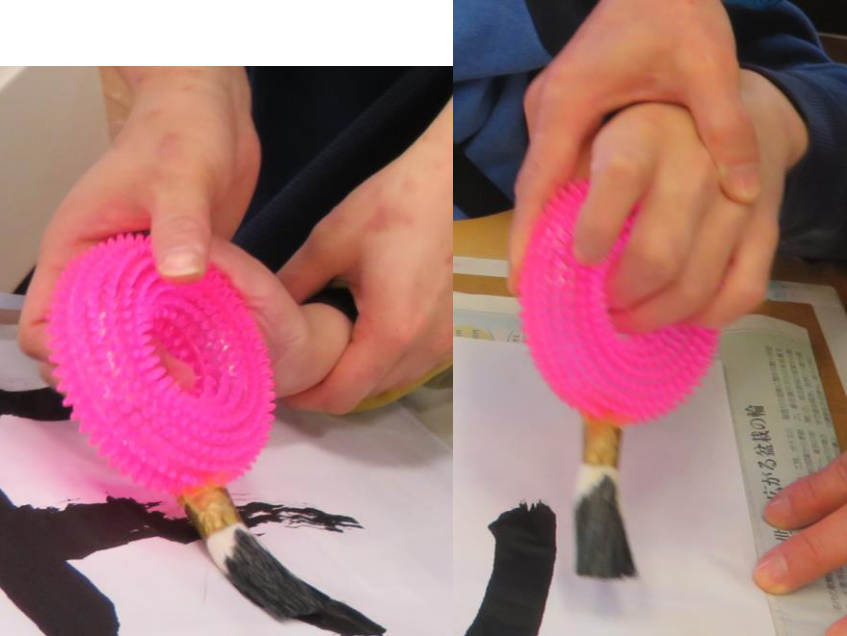




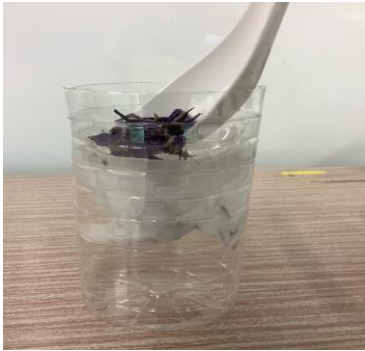
[教材名]	[学部]
筆	高等部
[教科・単元名等]	[教育課程]
国語数学	自立活動を主とする児童・生徒の教育課程
[教材写真]	[ねらい]
	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの力で筆を持って、動かす。 ・運筆の感覚を知る。
	<p>[使い方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習字や絵の具の授業で、生徒が持ち、一緒に動かしたり、自分の力で動かしたりして、線を書いたり、色を塗ったりする。
	<p>[工夫した点]</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴムボール素材の輪っかを使用することで、手の形に変形でき持ちやすい。 ・どの向きからも持てるように輪っかを使用した。

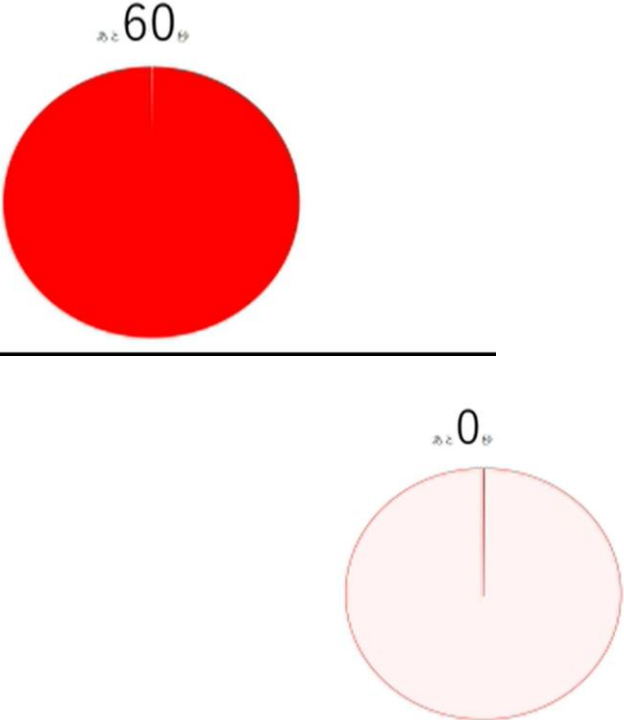
<p>[教材名]</p>	<p>[学部]</p>
<p>神経衰弱</p>	<p>高等部</p>
<p>[教科・単元名等]</p>	<p>[教育課程]</p>
<p>自立活動</p>	<p>知的障害を合わせ有する生徒の教育課程</p>
<p>[教材写真]</p>	<p>[ねらい]</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士でコミュニケーションを取りながらゲームをする。
	<p>[使い方]</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードに実態に合わせた枚数を用意し、神経衰弱を行う。
	<p>[工夫した点]</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードに貼って活動することで、どの生徒も見られるようにした。 ・生徒が興味を持てる大きさやキャラクターを使用した。 	

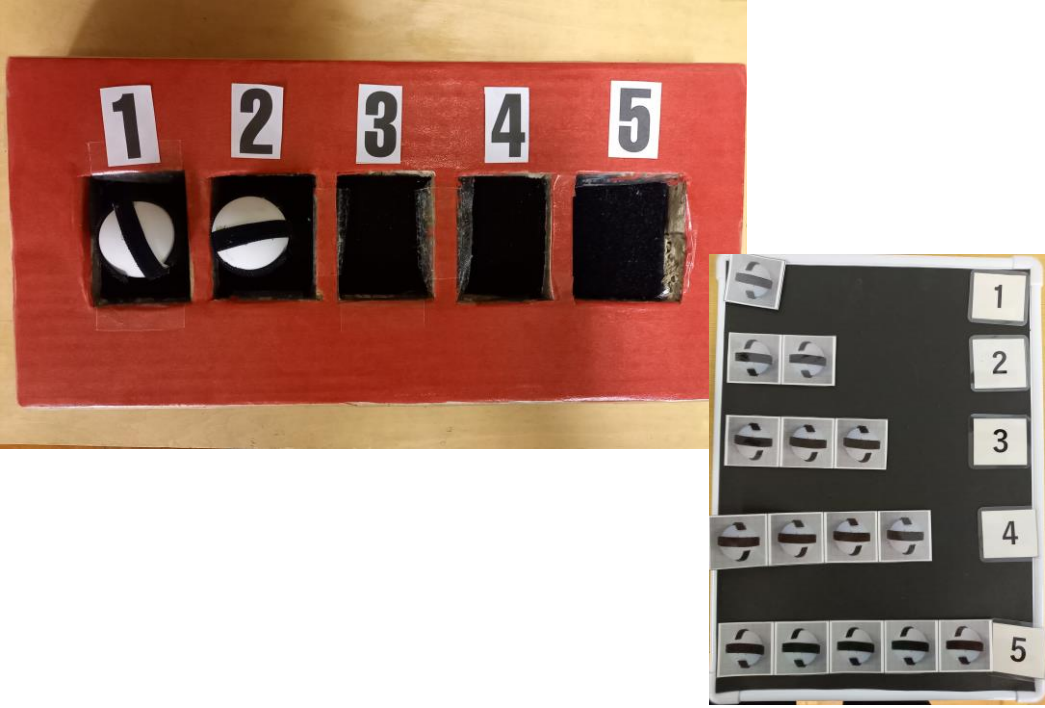
<p>【教材名】</p>	<p>【学部】</p>
<p>雪花絞り（染色）</p>	<p>高等部</p>
<p>【教科・単元名等】</p>	<p>【教育課程】</p>
<p>作業学習</p>	<p>自立活動を主とする教育課程</p>
<p>【教材写真】</p>	<p>【ねらい】</p>
	<p>染色の成功率を高め、活動への意欲につなげる</p>
	<p>【使い方】</p>
	<p>正三角形の木の板で和紙をはさみ、染料に浸す。</p>
<p>【工夫した点】</p>	<p>扱い易いように、小型クランプを使用した。</p>

[教材名]	[学部]
らいおんに餌を	高等部
[教科・単元名等]	[教育課程]
自立活動	○自立活動を主とする教育課程
[教材写真]	[ねらい]
	<ul style="list-style-type: none"> ・指先の技巧性を高める ・集中力を身に付ける
	[使い方]
	<ul style="list-style-type: none"> ・指でタグをつかみ、ケースに入れる。て数を数える。
	[工夫した点]
<ul style="list-style-type: none"> ・タグに果物を描き興味もてる様にした。 	


[教材名]	[学部]
体幹クッション	高等部
[教科・単元名等]	[教育課程]
自立活動	自立活動を主とする教育課程
[教材写真]	[ねらい]
	<p>プロンキーパー使用時に、体幹の隙間を埋める。</p>
	[使い方]
	<p>プロンキーパー使用時に体幹に沿うように当てる。</p>
	[工夫した点]
<p>本人の体幹に合うように大きさとクッションの方さを調整した。</p>	

【教材名】	【学部】
サシェ（香り袋）づくりの道具	高等部
【教科・単元名等】	【教育課程】
生活単元（香り袋を作ろう）	自立活動を主とする教育課程
【教材写真】	【ねらい】
  	生徒自身が手をしっかり動かして、香り袋を作ることができる。
	【使い方】
	<ol style="list-style-type: none"> ① 飲み口の方に取りつけた結束バンドに、お茶パックを引っかける（教員が行う） ② 飲み口部分をひっくり返して、ボトルにはめ込む。 ③ れんげや小さいコップなどを使って、ポプリ（粉砕したもの）を入れる。 ④ お茶パックの袋を閉じる。
	【工夫した点】
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒と指導する大人の両方が扱いやすいようにした。 ・ ポプリの入れ口が小さい（生徒がうまく入れられない）場合は、大きなペットボトルで同様に製作する。または市販のじょうごを飲み口につける。

[教材名]	[学部]
タイムタイマー	高等部
[教科・単元名等]	[教育課程]
リサイクル活動（紙すき）	知的障害を合わせ有する教育課程
[教材写真]	[ねらい]
	作業の終わりの時間を理解する。
	[使い方]
	生徒所有のiPad ダウンロードし、動画を再生する。
[工夫した点]	
高音の聞き取りが困難な生徒のために、終わりの音を低音のブザーにした。 終了時にタイムタイマーが点滅し、終わりを分かりやすくした。	

<p>【教材名】</p>	<p>【学部】</p>
<p>ボールつかみゲームをして数を数えよう</p>	<p>高等部</p>
<p>【教科・単元名等】</p>	<p>【教育課程】</p>
<p>国語・数学</p>	<p>○自立活動を主とする教育課程</p>
<p>【教材写真】</p>	<p>【ねらい】</p>
	<p>1対1対応 数唱</p>
	<p>【使い方】</p>
	<p>かごの中から球をつかみ、1対1対応ボックスに入れて数を数える。</p>
	<p>【工夫した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボックスは適度な深みにすることで、左右との分け目ができ、1対1で張り付けやすくした。 ・マジックテープで張り付けることで、一度付けた後に取れにくく、手を放す活動に移りやすくした。 ・1つの場所には2つ入らないようにして1つの場所に1つの球の対応になるようにした。

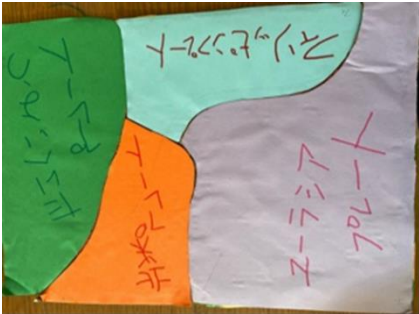



[教材名]	[学部]
ランプ補助	高等部
[教科・単元名等]	[教育課程]
体育・ポッチャ	自立活動を主とする教育課程
[教材写真]	[ねらい]
	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの力で紐を持って、動かす。 ・ボールを投げる達成感を持つ。
	[使い方]
	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミ針金の先にポッチャボールを引っ掛けて、後ろについてある紐を指で持ち引っ張ってボールを転がす。
	[工夫した点]
	<ul style="list-style-type: none"> ・ポッチャボールを引っ掛ける度合いを生徒の力加減によって調節できるようにアルミ針金を使った。 ・引っ張る紐を生徒の力加減に合わせてられるように、簡単に動くように接続部の針金の位置を調節した。



[教材名]	[学部]
理科	高等部
[教科・単元名等]	[教育課程]
水溶液の性質を学ぶ	自立活動を主とする教育課程
[教材写真]	[ねらい]
	<ul style="list-style-type: none"> ・酸性、アルカリ性の性質を PH 紙で調べる。
	[使い方]
	モニター画面を見ながら、手順通りに調べる。
	[工夫した点]
<ul style="list-style-type: none"> ・実験に必要なものを一人ずつに分けることにより、自主的に調べようとする意欲を高めている。 ・緑、赤の容器の液体を授業ごとに変えることで、同じ手順で様々な液体の性質を調べられるようになっている。 	

[教材名]	[学部]
英語カード	高等部
[教科・単元名等]	[教育課程]
外国語	知的障害を合わせ有する児童・生徒の教育課程
[教材写真]	[ねらい]
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の部位を英語で発音する。
	[使い方]
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単語カードを見て、発音の練習をする。
	[工夫した点]
<ul style="list-style-type: none"> ・ 親しみやすいキャラクター等を使用し、生徒が興味をもてるようにした。 ・ 英語の発音は平仮名で表記した。 	

[教材名]	[学部]
ドット	高等部
[教科・単元名等]	[教育課程]
国語・数学	自立活動を主とする教育課程
[教材写真]	[ねらい]
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数に親しむ。 ・ 数唱を知る。
	<p>[使い方]</p> <p>ドットを箱に入れ、30秒間手で掴んでもう一つの箱に移し替える活動を繰り返す。獲得したドットを数えながらボードに貼る。合計得点を競うゲームをする。</p>
	<p>[工夫した点]</p> <p>ドットは段ボールで厚みを出し、掴みやすくした。また赤にして見やすくした。耐久性や防水性を出す為にブッカーで覆っている。掴む時は小さい方で掴みやすくし、貼る活動の際には大きい方に変更して貼りやすくした。また貼るボードの枠も段ボールで凹凸をつけ、視覚障害がある生徒も手触りで貼る場所がわかるようにした。</p>

<p>【教材名】</p>	<p>【学部】</p>
<p>お金の仕組み</p>	<p>高等部</p>
<p>【教科・単元名等】</p>	<p>【教育課程】</p>
<p>国語数学</p>	<p>知的障害を合わせ有する児童・生徒の教育課程</p>
<p>【教材写真】</p>	<p>【ねらい】</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">本来は縦につながっていて…</p> </div> <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ジャバラに畳むと、100円玉になる</p> </div>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	<p>・ 繰り上がり・繰り下がりイメージができる。</p> <p>・ お金を使用する際や、両替を行う際に必要な量感を育てる。</p>
	<p>【使い方】</p> <p>・ 1円、2円、3円…と一緒にお金を数えていき、10円になった際に、位が繰り上がること、十円玉に変身できること（またその逆）を操作することで確認する。</p>
	<p>【工夫した点】</p> <p>・ 大きい教材に加えて、生徒自身が手元で操作できる小さな教材も作成した。</p> <p>・ 1円玉、10円玉、100円玉、1000円札を全て10枚ずつつなげ、位が上がると別の硬貨に変身できることを、見て、体感できるようにした。</p> <p>・ 繰り下がり計算を行う際に、両替の仕組みを使って、必要な分のお金を切り離して考えることができるようにした。</p>

[教材名]	[学部]
社会	高等部
[教科・単元名等]	[教育課程]
日本の地形を学ぶ	自立活動を主とする教育課程
[教材写真]	[ねらい]
 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に、地震の多いところと少ないところがあることを知る。 ・4つのプレートの上に日本列島があることを学習する。 ・日本列島に地震が多い理由を知る。
 	<p>[使い方]</p> <p>事前→「世界の地形」についての視聴覚教材を視聴し、事前に世界の地形の成り立ちや4つのプレートについて学習しておく効果的。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 4つのプレートについて、一つ一つの名称を確認し、覚える。 ② 4つのプレートの上に日本列島を乗せ、不安定な動くプレートの上に日本列島があることを学習する。
	<p>[工夫した点]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 筒状の立体をプレートの下に置いて、不安定さを出した。 ② 4つのプレートの上に小さな人形を順番に乗せ、ゲーム性を出して楽しく学習できるように工夫した。(日本列島グラグラゲーム)

<p>【教材名】</p>	<p>【学部】</p>
<p>ターンテーブル</p>	<p>高等部</p>
<p>【教科・単元名等】</p>	<p>【教育課程】</p>
<p>自立活動</p>	<p>準ずる教育課程</p>
<p>【教材写真】</p>	<p>【ねらい】</p>
	<p>・給食（食事）を自食する。</p>
	<p>【使い方】</p>
	<p>・ターンテーブルの上に給食をテーブルごと載せる。</p>
	<p>【工夫した点】</p>
	<p>・本来パソコンなどを載せるターンテーブルに滑り止めをつけ、手先でお盆を回して自分が食べたいもの（ごはんやおかず）を食べられる位置に動かしながら1人で食事をする事ができる。</p>

[教材名]	[学部]
トントン相撲	高等部
[教科・単元名等]	[教育課程]
国語『はつきよいはたけばしよ』	知的障害を合わせ有する生徒の教育課程
[教材写真]	[ねらい]
	野菜が相撲を取る再現活動をする。
	[使い方]
	太鼓の上に選んだ野菜の駒を置き、長い棒でトントン叩く
	[工夫した点]
<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな姿勢で参加できるように長い棒でトントンする。 ・ 太鼓の音がするので注目しやすい。 	

<p>[教材名]</p>	<p>[学部]</p>
<p>数を一緒に数えよう</p>	<p>高等部</p>
<p>[教科・単元名等]</p>	<p>[教育課程]</p>
<p>国語・数学</p>	<p>○自立活動を主とする教育課程</p>
<p>[教材写真]</p>	<p>[ねらい]</p>
	<p>5までの数唱 5までの数量</p>
	<p>[使い方]</p> <p>ボールを一緒につかみ、筒に入れて数を数える。</p>
	<p>[工夫した点]</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さすぎず大きすぎない、手の平で握りやすい大きさのボールにした。 ・ 縦の筒状にし、数唱に合わせて筒に入れたボールが増える様子が見やすいようにした。 ・ 視点をあまり動かさず、一か所で数が増える様子を見やすいようにした。